

「障害者就労支援ノウハウ募集」へのよくあるご質問への回答(FAQ)

- [Q1 Web フォームへの入力、各人が自由に行ってよいのですか？](#)
- [Q2 Web フォームへの入力には、どの程度時間がかかりますか。](#)
- [Q3 それほど独自の支援ノウハウとは思えないので、他の応募と重複すると思いますが、それでもよいですか？](#)
- [Q4 学会発表、研究・実践発表会、文書等で公表済みのものについて、あらためて情報提供する必要はありますか？](#)
- [Q5 Web フォームへの入力は途中で取りやめることができますか。](#)
- [Q6 自分の実践が応募に値するかどうか、自信がありません。](#)
- [Q7 支援ノウハウ集に掲載されるとすれば、しっかりした内容を入力する必要があるのでしょうか。](#)
- [Q8 最終確認で誤って「この内容で登録する」としてしまいました。取り消しや修正はできますか。](#)
- [Q9 現場での工夫やノウハウはありすぎて、とても登録しきれません。](#)
- [Q10 支援ノウハウは組織内部では既に共有されており、また、他の機関では実施が困難等、実践の参考にならないものも多く、ノウハウ収集の意義がよく分かりません。](#)
- [Q11 ノウハウ募集について関係機関への拡散、周知はどのようにすればよいですか。](#)
- [Q12 ページ送りのボタンを押してもうまくページが送れません。](#)

Q1 Web フォームへの入力、各人が自由に行ってよいのですか？

A1 はい。特に組織の見解を聞くものではなく、各人が匿名で入力いただくものです。ただし、組織としてのお考えをまとめてご入力いただいても差し支えありません。

Q2 Web フォームへの入力には、どの程度時間がかかりますか。

A2 ご応募に要する時間は通常20分以内ですが、下記内容について事前にメモを作成し、コピー＆ペーストで入力いただければ、入力時間はより短くできると存じます。

- ①支援ノウハウの簡潔なタイトル(50 字以内)
- ②取組・工夫の具体的内容(500 字以内)
- ③課題軽減・解決・向上の具体的な効果や成果(500 字以内)

Q3 それほど独自の支援ノウハウとは思えないので、他の応募と重複すると思いますが、それでもよいですか？

A3 重複する情報は重要性の目安になりますので、重複は気にせず、現場の実感として重要なものについて情報提供ください。公式に文書化されていない現場のノウハウ・工夫等、印象などを加えていただければ幸いです。

Q4 学会発表、研究・実践発表会、文書等で公表済みのものについて、今回の入力の際に、あらためて情報提供する必要はありますか？

A4 お手数ですが、具体的効果等の追加情報も含め、あらためて簡潔に情報提供をいただけますと幸いです。詳しい情報については、参照先をご教示いただければ助かります。

Q5 Web フォームへの入力は途中で取りやめることができますか。

A5 最終確認画面で了解いただいはじめてご応募は完了しますので、途中のものが登録されることはありません。なお、途中で中断しても、記述開始後1週間以内で、同一 PC・ブラウザからアクセスすれば書きかけの途中から再開できるようになっています。(ただし、キャッシュの有効期限(1週間)を超過した場合や、仮想化デスクトップ等のキャッシュが保存されない端末については、続きからの回答ができませんので、ご注意ください。)

Q6 自分の実践が応募に値するかどうか、自信がありません。

A6 自機関では当たり前でも、意外に他機関・職種や社会一般には理解されていない支援のポイントが多くあると存じます。障害者就労支援での経験が浅い場合でも、現場の成功／失敗体験で学んだ大切な支援のポイントなどを、分かりやすく言語化して情報提供していただければ、社会的に大変有益であると存じます。

Q7 支援ノウハウ集に掲載されるとすれば、しっかりした内容を入力する必要があるのでしょうか。

A7 入力いただいた内容がそのまま支援ノウハウ集に掲載されるものではありません。すべてのご協力者の入力を分類した上で集計し、有識者や実務者等による研究委員会等の検討を踏まえ、支援ノウハウ集を作成する予定です。その過程で内容の精査や文章校正が十分に行われます。

Q8 最終確認で誤って「この内容で登録する」としてしまいました。取り消しや修正はできますか。

A8 取り消しや修正はできませんので、お手数ですが、再度、新しく入力をお願いします。
不完全な入力や明らかな重複等の入力ミスについては、分析時にデータ除去されます。

Q9 現場での工夫やノウハウはありすぎて、とても登録できません。

A9 特に、大切なポイントとなるもの、あまり社会一般に知られていないもの、もっと普及したいもの、など、いくつか絞って情報提供いただければ幸いです。追加が必要になった場合でも、登録は 10 月 15 日まで何回でもできます。

Q10 支援ノウハウは組織内部では既に共有されており、また、他の機関では実施が困難等、実践の参考にならないものも多く、ノウハウ収集の意義がよく分かりません。

A10 「障害のある人が職業生活で活躍できている」という現場からの成果を社会の共通認識として普及し、障害のある人や家族、企業、社会の多様な関係者のエンパワメントにつなげていきたいと考えております。組織内では当然と思われる取組や工夫でも、意外に他の機関や社会一般には未だ普及していないことが多いことが、障害者就労支援分野の課題と考えております。

Q11 ノウハウ募集について関係機関への拡散、周知はどのようにすればよいですか。

A11 ご協力ありがとうございます。関係機関への日頃の業務連絡に併せて、次の例のようにメールの末尾等で周知いただきますようお願いいたします。

=====

障害者職業総合センター研究部門「障害者就労支援の効果的ノウハウ」募集中

応募フォーム: <https://nivr.svy.ooo/ng/answers/ws2021.htm>

※広い意味で「障害者の職業生活の支援」に関わる医療・福祉・教育等の機関・職種からのご応募もお待ちしています。

=====

Q12 ページ送りのボタンを押してもうまくページが送れません。

JavaScript の設定が無効になっていると、正常に表示できないなどの現象が発生する場合があります。その場合は JavaScript を有効に設定してください。

IE8、IE9 からは回答いただくことができません。別のブラウザからお試してください。

上記を試しても回答できない場合は、お手数ですが「問い合わせ先」までご連絡ください。